


【スズメバチの基礎知識】

## 秋はスズメバチの季節です！

近年、夏から秋にかけてハチに刺される被害がよく聞かれます。特にスズメバチは秋に巣がもっとも大きくなり、危険になります。そして、場合によっては命にかかわることもなりかねません。そんなスズメバチについて以下に示しましたので、刺されないように、被害が拡大しないように役立ててください。

### 代表的なスズメバチと生態

日本にいるスズメバチのうち被害のある主な種類は次の3種です。

コガタスズメバチ … 体長 22-27mm

- ・ 巣は庭木の枝によく見られる
- ・ 初期の巣は逆さまにしたトックリ状
- ・ 大きくなるとサッカーボールくらい
- ・ 攻撃性はさほど強くない
- ・ 食性が広い都市適応型

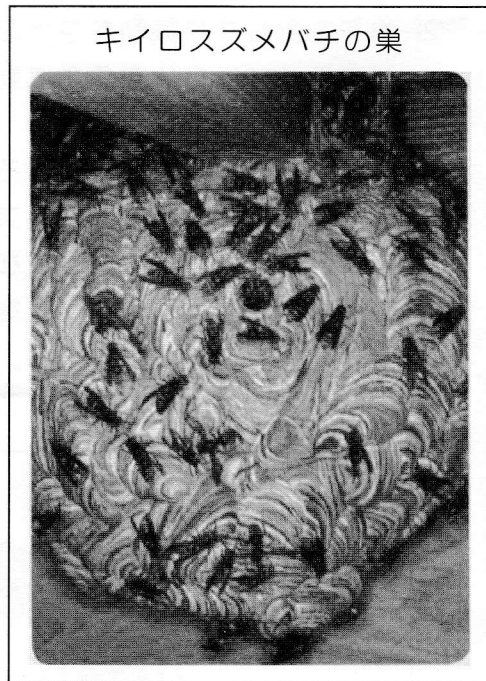
キイロスズメバチ … 体長 18-24mm

- ・ 巣は天井裏や軒下によく見られる
- ・ 大きくなると巣の引越しがある
- ・ 日本では最大規模の巣を造る
- ・ 攻撃性は強い
- ・ 食性が広い都市適応型

オオスズメバチ … 体長 27-38mm

- ・ 普通土中に営巣
- ・ 攻撃性が極めて強い
- ・ ハイキングなどで被害を受けるものの多くは本種

※3種とも雌（女王バチ）は記述した体長より一回り大きい。



スズメバチは一年性のハチです。越冬した女王バチは初夏までに巣づくりし、働きバチを育てます。8月頃から巣は急速に大きくなり、人目につくようになります。晩夏から秋にかけては餌が不足し、攻撃的になります。秋に交尾が済んだ後、新しい女王バチは巣立って朽木の中などで越冬します。11月中頃以降になると、雄や働きバチは寒さのためすべて死亡し、冬には巣の中は空になります。